

変更点:大沢川、大清水川を新たに位置付け

第1章 対象圏域と河川の状況

第1節 対象圏域の概要

- 圏域:長野県内の天竜川水系の流域は、地形や地域特性から3圏域(諏訪圏域・伊那圏域・飯田圏域)に区分される。伊那圏域は本流域の上流～中流に位置している。
- 流域自治体:伊那市、駒ヶ根市、上伊那郡辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村と岡谷市、塩尻市の一部を含む4市3町3村
- 地形
八ヶ岳連峰に発し諏訪盆地に集まった水は、諏訪湖の釜口水門から「天竜川」として流出する。その後、赤石山脈(南アルプス)と木曾山脈(中央アルプス)にはさまれた狭長な伊那谷(伊那盆地)を経て長野・愛知・静岡県境の山間部を流下し、遠州平野に出て三方原台地と磐田原台地間の低地を流れ、遠州灘に注ぐ。



第2節 圏域内の河川の現状と課題

- 治水に関する現状と課題
- ・圏域内の河川においては、昭和の初頭より天竜川及び三峰川等を中心に河川改修が行われてきた。昭和39年の法改正により天竜川水系は昭和40年4月に一級河川となり、これ以降圏域の河川は一定計画に基づく改修が進められてきた。
- ・河川改修の多くが局部改良工事や災害復旧工事であり、全川の改修にまで至っていないのが実状であり、昭和36、40、44、57、58、平成3、11、18年と立て続けに梅雨や台風による集中豪雨に襲われ、圏域内に甚大な被害が発生している。近年では、令和2年7月、同3年8月の豪雨により多大な被害を受け、より高い治水安全度の確保が望まれている。



三六災害(昭和36年(1961年)6月)
土砂に埋まった家屋と水田(伊那市長谷)
(天竜川上流河川事務所HP)



平成18年(2006年)7月豪雨
殿島橋の落橋(伊那市東春近・西春近)
(天竜川上流河川事務所HP)

○利水に関する現状と課題

- ・沢川においては、箕輪ダムの貯留により伊那市、駒ヶ根市、箕輪町、南箕輪村及び宮田村の上水道用水に利用されている。横川川においては、横川ダムの貯留により、かんがい用水に利用されている。
- ・諏訪湖の釜口水門では過去には維持放流量を確保できない渇水時期があった。

○河川環境に関する現状と課題

- ・圏域周辺の山々は、南アルプス国立公園、中央アルプス国立公園、三峰川水系県立自然公園、天竜小流水系県立自然公園等に指定されており、良好な自然環境を有している。
- ・水質については、ここ数年は環境基準に適合している。



地域住民の協力による河川愛護活動

○河川の維持、管理の現状と課題

- ・圏域内では、アダプトシステム協定締結団体(河川愛護団体)として97団体が登録されており、自主的な愛護活動を行っている。
- ・圏域内では、各水防管理団体において水防計画等が作成され、定期的な点検・パトロールを実施するような体制整備が図られている。

第2章 河川整備計画の目標に関する事項

第1節 計画対象区間

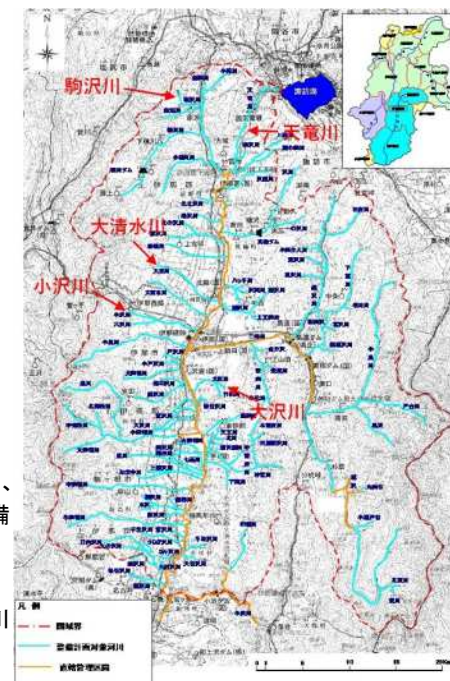
- 対象河川は、伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村と岡谷市、塩尻市の一部を含む4市3町3村における天竜川水系に属する一級河川のうち、長野県が管理する102河川、全長約497kmとする。

第2節 計画対象期間

- 本河川整備計画における河川整備の当面の目標は、今後概ね20年間とし、天竜川は国の整備計画と整合性を図り概ね30年間とする。

第3節 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

- 沿川の人口・資産の集積状況、災害の発生状況、現況の流下能力等を考慮し、治水対策の優先度が高い河川として、天竜川、小沢川、駒沢川、大沢川、大清水川について、整備を優先的に行う。
- 治水安全度目標は、天竜川は釜口水門からの放流量500 m³/sを安全に流下させること、小沢川は1/50、その他の河川は1/30規模の洪水を安全に流下させることのできる治水安全度を確保することを目標とする。



計画対象河川位置図

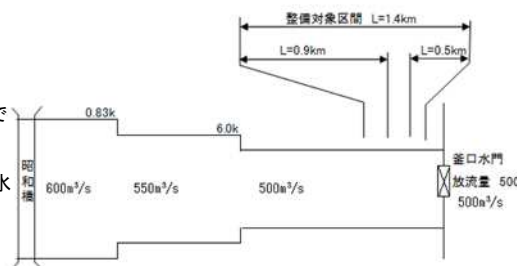
天竜川水系伊那圏域河川整備計画(第1回変更) 概要版

○天竜川

概略延長：1,400m

整備概要：側方掘削、根固工等

- ・釜口水門からの放流量500m³/sを安全に流下させることのできる治水安全度を確保することを目標とする。
- ・岡谷市川岸地区及び岡谷市湊地区において家屋等への浸水被害を防止する。

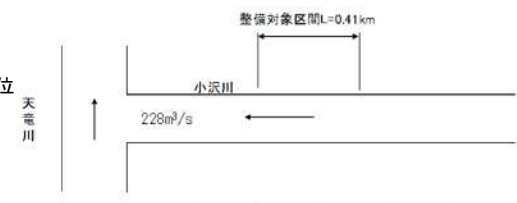


○小沢川

概略延長：410m

整備概要：河床掘削、護岸工事等

- ・天竜川合流点で228m³/sの計画高水流量に対し、計画高水位以下で安全に流下させることを目標とする。
- ・伊那市街地の荒井地区、川北地区の浸水被害を防止する。



○駒沢川

概略延長：3,760m

整備概要：護岸工事、築堤工事、橋梁架替等

- ・小野川合流点で52m³/sの計画高水流量に対し、計画高水位以下で安全に流下させることを目標とする。
- ・辰野町小野地区において家屋等への浸水被害を防止する。

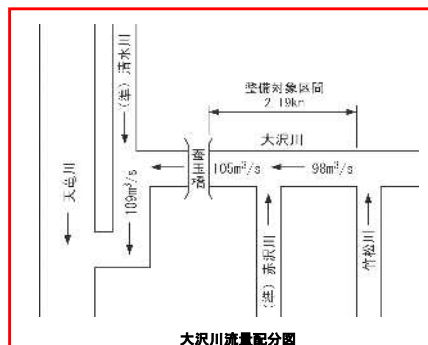


○大沢川

概略延長：2,190m

整備概要：護岸整備、河道拡幅、河床掘削、橋梁架替等

- ・天竜川合流点で109m³/sの計画高水流量に対し、計画高水位以下で安全に流下させることを目標とする。
- ・伊那市東春近下殿島地区、田原地区の浸水被害を防止する。

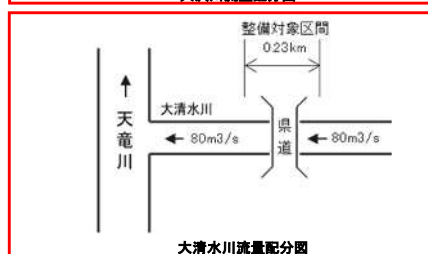


○大清水川

概略延長：230m

整備概要：護岸整備、河道拡幅、河床掘削、橋梁架替等

- ・天竜川合流点で80m³/sの計画高水流量に対し、計画高水位以下で安全に流下させることを目標とする。
- ・南箕輪村神子柴地区の浸水被害を防止する。



第3章 河川整備計画の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

○優先的に整備を実施する河川に関する事項

- ・整備区間は、沿川の土地利用状況や過去における被災状況及び既定計画と現在までの実施状況等を考慮し、左記の河川及び区間とする。

第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

○河川維持の種類及び施行の場所

- ・河道における土砂の堆積による流れの阻害やダム貯水地内の堆積など、治水上の支障となる場合は、環境に配慮しつつ堆積土の除去、立木伐採、草刈り等の必要な対策を河川愛護団体と協力して行う。
- ・護岸等の河川構造物の変状、異常の早期発見のため、河川愛護モニターや河川管理者による河川巡視を行うとともに、河川管理上支障をきたす場合は速やかに修繕等必要な対策を行う。
- ・老朽化の進行が懸念されるダム、樋門等の河川管理施設については、長寿化計画を策定し、効率的かつ計画的な維持修繕を行う。また、本来備えるべき機能を発現できない恐れのある河川管理施設については、必要に応じて改築・補修・修繕等を実施する。
- ・横川ダム、箕輪ダムについては、ダム本体、貯水池及びダムに係る施設等を良好に保つために必要な計測・点検等を行い、その機能維持に努める。

○流水の正常な機能の維持に関する項目

- ・圏域内の河川の水量、水質については、関係市町村、利害関係者、河川愛護団体及び漁協関係者等から積極的に情報収集するとともに、河川パトロールや河川愛護団体と連携を図り、流水の状況把握に努める。

第4章 河川情報の提供、地域や関係機関との連携等に関する事項

○河川情報の提供に関する事項

- ・雨量・水位情報をリアルタイムで収集し、関係機関に提供することにより、水防活動等、必要な対策への支援を行う。
- ・洪水時において、住民がより適切な避難判断をできるよう、設置した危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラから得られる河川情報が、インターネット等を通じてリアルタイムで提供できるよう取り組む。

○地域や関係機関との連携等に関する事項

- ・総合的な土砂管理に関し、関係機関と連携し、情報共有を図る。
- ・関係機関と連携して、洪水被害を極力防止、軽減するための水防活動を支援する。
- ・「流域治水」の推進に向けて、「長野県流域治水推進計画」(R3.2)に基づいた取組を進めていく。

